

At

your

side.

110TH
ANNIVERSARY

その挑戦が未来につながる

株主通信

127期 第2四半期末号

2018年4月1日▶2018年9月30日

ブラザーの今	1
株主の皆さまへ	3
トップインタビュー	5
第2四半期連結累計期間の業績	7
事業セグメントの営業概況	9
トピックス	11
株主アンケートの結果	12
ブラザーの取り組み	13
会社の概要	14
株式の状況	裏表紙

 JPX-NIKKEI 400

JPX 日経インデックス400 構成銘柄

証券コード 6448

At your side.

あらゆる場面でお客様第一に考え、優れた価値を創造し、
迅速にお届けしたい。

“At your side.”という言葉には、
そんなブラザーグループの思いが込められています。

この“At your side.”の精神のもと、
ブラザーグループは、

地球環境に配慮した取り組みを行うとともに、
世界中のお客様が実現したい新しいワークスタイルや
ライフスタイルを、
製品やサービスを通じて応援していきます。

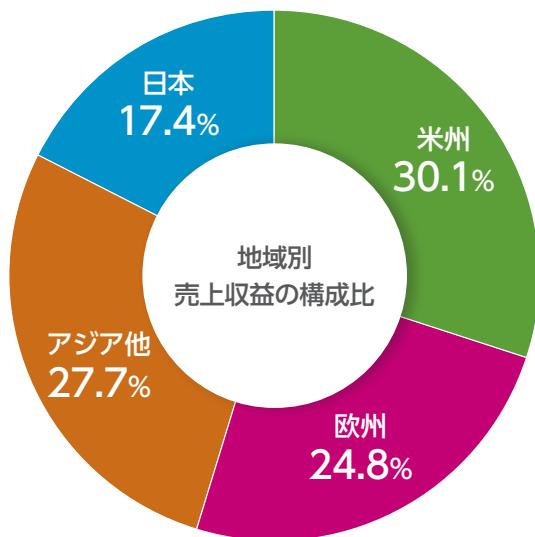
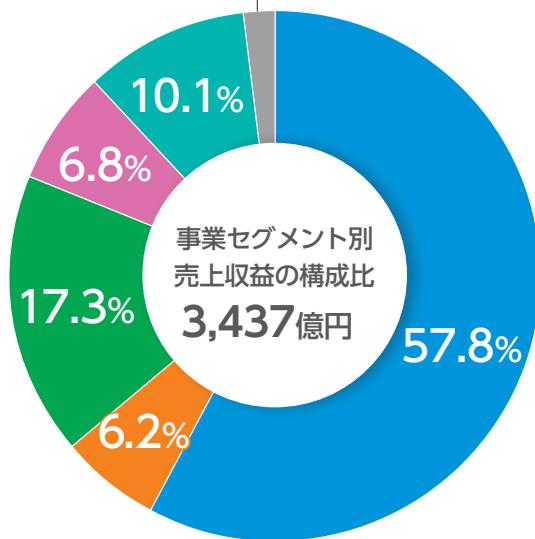


よりよい地球環境を、あなたとともに。
www.brotherearth.com

- ※ この株主通信に記載の業績見通しは、作成時点で入手可能な情報に基づく当社判断による見通しであり、さまざまなリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果がありうることをご承知おきください。
- ※ この株主通信に記載の表示金額は、億円未満を四捨五入、百万円未満を切り捨てて表示しています。また、各種比率は小数点第二位を四捨五入して表示しています。

事業展開 (2018年度 第2四半期累計)

その他事業 1.8%



57.8% プリンティング・アンド・ソリューションズ (P&S) 事業

プリンティング技術を追求し、新しいワークスタイルを提案します。コンパクト性を追求したプリンターのほか、1台にプリンター・ファクス・コピー・スキャナーなどの機能を搭載した複合機、使いやすさにこだわったラベルライターなどがあります。

(主要製品等) プリンター、複合機、スキャナー、ラベルライター、ラベルプリンター



6.2% パーソナル・アンド・ホーム (P&H) 事業

家庭用ミシンを中心としたソーイング関連の製品とサービスで、手づくりの楽しさを提案します。また高級刺しゅうミシンにおいては、ITを活用したサービスを通じて手づくりの新しい可能性を広げます。

(主要製品等) 家庭用ミシン、カッティングマシン



17.3% マシナリー事業

使いやすさ、高品質な縫製、省エネルギーを実現した工業用ミシンや、自動車や二輪車、スマートフォンなどの部品加工業界に最適な工作機械に加え、幅広い製品バリエーションを持つ減速機や歯車などを通じて、お客様の生産性向上と新たな価値創出をお手伝いしています。

(主要製品等) 工業用ミシン、ガーメントプリンター、工作機械、減速機・歯車



6.8% ネットワーク・アンド・コンテンツ (N&C) 事業

業務用通信カラオケシステムの提供を行うとともに、通信カラオケで培ったコンテンツ・配信技術を活用したサービスや製品を提供することで、新たな顧客価値を追求しています。

(主要製品等) 通信カラオケシステム、カラオケ店舗運営、コンテンツサービス



10.1% ドミノ事業

ペットボトル、缶、食品の包装などに、賞味期限、ロット番号などを印字する印刷機を提供するコーディング・マーキング事業と、商品パッケージの多種少量化や短納期化の要請に応えたデジタル印刷事業を展開しています。

(主要製品等) 産業用インクジェットプリンター、デジタル印刷機





代表取締役社長 佐々木一郎



代表取締役会長 小池利和

株主の皆さまには日頃からブラザーグループをご支援いただき、心から御礼申し上げます。

ブラザーは、2018年6月26日の株主総会およびその後の取締役会の決議を経て、小池利和を代表取締役会長、佐々木一郎を代表取締役社長とする新経営体制を発足させました。市場環境の急速な変化の波に打ち勝ち「強いブラザー」を築くため、これまで以上に変革に挑戦し続ける企業体質へと転換を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2018年度第2四半期連結累計期間の業績

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、プリンティング・アンド・ソリューションズ事業でモノクロレーザー複合機の販売が新興国を中心に堅調に推移したほか、インクジェット複合機では、大容量インクタンクモデルの新製品が好調に推移しました。パーソナル・アンド・ホーム事業では、新製品の最高級刺しゅうミシンの販売が好調に推移しました。マシナリー事業では、工業用ミシンが各地域で堅調に推移したほか、産業機器も自動車・一般機械関連は堅調に推移したものの、IT関連の需要縮小の影響を補えず、事業全体では前年同期を下回る水準となりました。ネットワーク・アンド・コンテンツ事業は、

店舗事業は堅調だったものの、通信カラオケ機器の販売でレンタル契約が増えた影響により前年同期を下回る水準となりました。ドミノ事業は、新興国を中心に安定的な成長が続きました。これらの結果、売上収益は、前年同期比0.8%の減収となる3,436億8千9百万円、事業セグメント利益は、前年同期比1.9%の減益となる383億6千3百万円となりました。営業利益は、為替予約の評価損の影響がなくなったことにより、前年同期比21.5%の増益となる380億3千1百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比25.9%の増益となる285億5千3百万円となりました。

通期の見通し

2018年度通期の見通しについては、主力となるプリンティング・アンド・ソリューションズ事業は堅調であるものの、産業機器において、IT関連顧客向けの需要が縮小したことや中国での自動車・一般機械向けの受注減の影響に加え、為替の前提レートを前年度実績に比べ円高に設定したことによるマイナス影響、IFRS15号の適

用開始による収益認識基準の変更による影響などにより、売上収益は、前期比3.2%減の6,900億円、事業セグメント利益は前期比10.7%減の690億円、営業利益は前期比1.9%増の700億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比4.0%増の520億円を見込んでおります。

配当について

株主の皆さまへの利益還元については、財務戦略とのバランスを考慮しながら連結配当性向30%を目安に安定的な配当を実施しております。

2018年度第2四半期末の配当金につきましては、期

初予想通り、1株当たり30円とさせていただきます。年間配当は、前年度から6円の増配となる、1株当たり60円を予定しております。これにより、連結配当性向は、30%になります。



新社長に聞く

これからのブラザー

これまで取り組んできた仕事について
教えてください。

エンジニアとして入社し、
ブラザー初のレーザープリンター
開発を主導。

1983年に入社後、14年間エンジニアとしてブラザー
製品の開発に携わりました。

エンジニア時代の仕事でもっとも印象に残っている
のは、ブラザーではじめてのレーザープリンターの開発を
担当したことです。入社2年目に、米国の展示会ではじ
めてレーザープリンターに出会い、その高い性能に驚
き、「これは絶対にブラザーで開発しなくてはならな
い！」と心に誓ったことを鮮明に記憶しています。その
後、レーザープリンターの開発チームを立ち上げ、
1987年にブラザー初のレーザープリンターの生産にこ
ぎつけることができました。

代表取締役社長 佐々木一郎

プロフィール

1983年4月にブラザー工業に入社。2005年1月にブラザーU.K.社
長、2008年4月にブラザー工業 NID開発部長、2009年4月に執行
役員、2013年4月に常務執行役員、2014年6月に取締役 常務執行
役員、2016年6月に代表取締役 常務執行役員、2017年4月に代表
取締役 専務執行役員を経て、2018年6月に代表取締役社長に就任

開発経験を経て、現在のプリンティング・アンド・ソリューションズ事業で、商品企画やお客様対応、品質管理などのさまざまな部門を経験したのち、英国の販売会社（ブラザーU.K.）の社長として、3年間海外で業務を経験しました。社長に任じられる前は、2015年に買収したドミノプリンティングサイエンス（以下、ドミノ）の担当として、ドミノを含めた産業用印刷領域を次世代のブラザーの成長の柱にするべく推進してきました。

経営者として取り組みたいことはなんですか。

ブラザーグループの全員が
お客様に向き合う企業風土の醸成。

ブラザーの精神である“*At your side.*”を追求し、真にお客様のことを考えて事業を行っていきたくと思っています。いかに高機能な製品であっても、使いこなせなくてはお客様に価値を提供することはできません。モノづくりの会社として、お客様から見て魅力のある製品・サービスをグループ一丸となって提供したいと思っています。

現在、技術進化も市場も、その変化のスピードはすさまじいものがあります。企業がいくら大きくなっても、お客様に何が喜んでもらえるかを考えられるように、一人ひとりが起業家精神を持って取り組んでいけるような企業風土を醸成していこうと考えています。

そのためにも、できるだけ多くの従業員にさまざまな経験ができる環境を提供し、従業員の成長につなげることが私の役目だと思っています。

経営課題について教えてください。

市況の急変に耐えられる
企業体質の強化を図り、
産業用印刷領域を拡大。

引き続き、中期戦略「CS B2018」で推進してきた「事業・業務・人財」の3つの変革に取り組みます。

現在、ブラザーの主力となるプリンター・複合機の市場はペーパーレス化が進み、縮小傾向にあります。この環境下においては、私たち自身が変わることが極めて重要です。「事業の変革」においては、産業用領域を強化し、今後の成長戦略の柱としなければなりません。産業用印刷分野は、「増えていく印刷領域」としてグローバルでの成長が期待されており、ブラザーも製品開発に積極的に取り組んでいます。

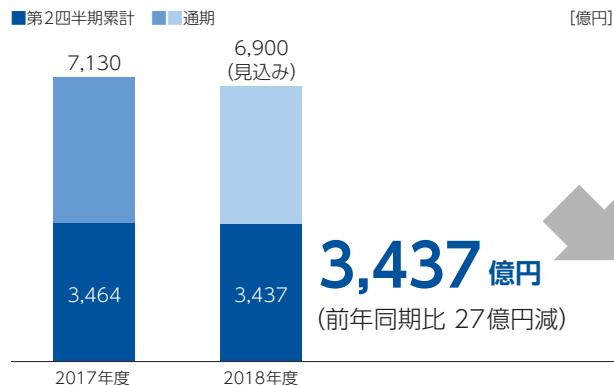
「業務の変革」では、業務プロセス改革の一環として、RPA (Robotic Process Automation) やPLM (Product Life cycle Management) をはじめとしたITを積極的に活用した効率化に取り組んでいきます。

「人財の変革」では、若手の積極的な登用を通じた「次世代経営人財の育成」、グローバル人財の登用や女性活躍推進など、「ダイバーシティ経営の実践を支える人事制度改革」を積極的に進めていきます。

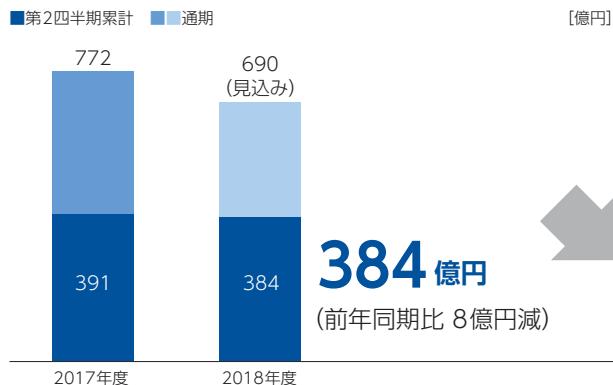
これらの「3つの変革」を成し遂げることにより、「時代や環境の変化に対応し、生き残ってきたDNAを伝承し、未来永劫の繁栄に向けて、変革や成長領域に挑戦し続ける複合事業企業」となることを目指してまいります。

第2四半期連結累計期間の業績

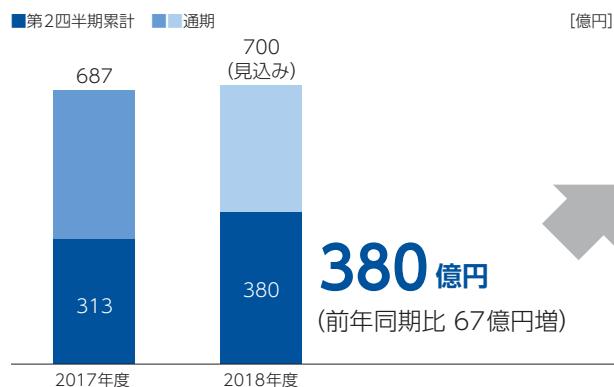
売上収益



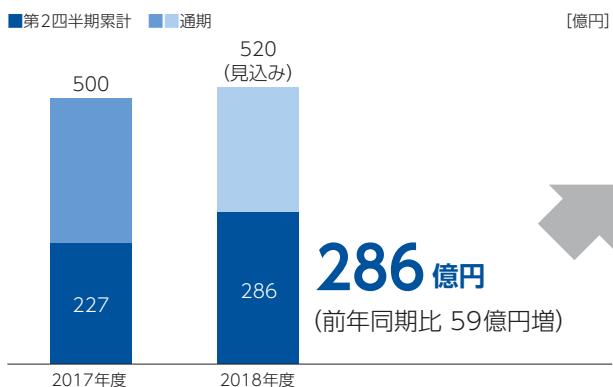
事業セグメント利益*



営業利益



親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益



* 売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しており、日本基準における営業利益に代替するものとして利用しています。

※平均為替レート

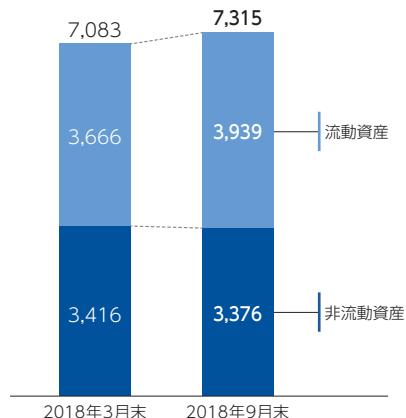
2017年度第2四半期累計：1米ドル=111.42円、1ユーロ=126.63円

2018年度第2四半期累計：1米ドル=110.07円、1ユーロ=129.88円

財政状態計算書

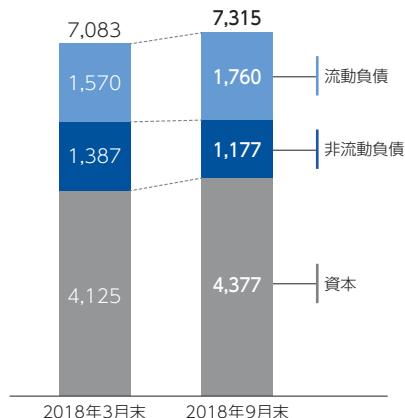
資産の部

[億円]



負債・資本の部

[億円]



決算のポイント

資産合計

現金及び現金同等物の増加、棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ232億円増加し、7,315億円となりました。

負債合計

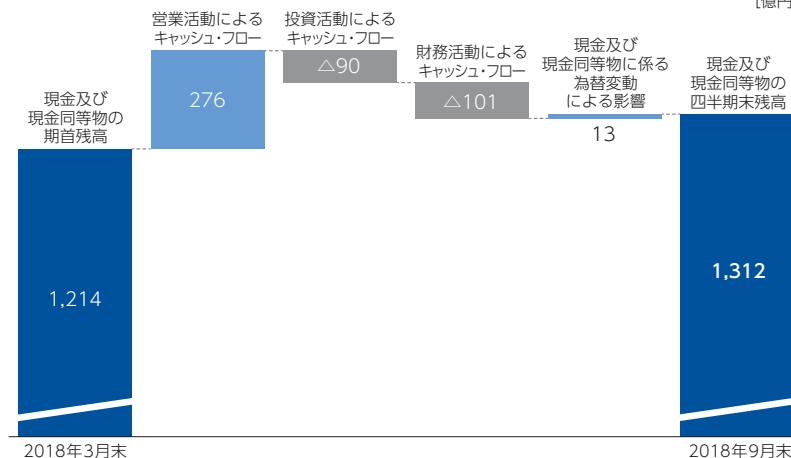
その他の金融負債の減少などにより、前連結会計年度末に比べ20億円減少し、2,938億円となりました。

資本合計

四半期利益による利益剰余金の増加、在外営業活動体の換算差額の影響などにより、前連結会計年度末に比べ252億円増加し、4,377億円となりました。

キャッシュ・フロー計算書

[億円]



決算のポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前四半期利益は385億円で、減価償却費及び償却費168億円など、非資金損益の調整などによる資金の増加、棚卸資産の増加による資金の減少154億円などがあり、法人所得税の支払額92億円などを差し引いた結果、276億円の資金の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額78億円、短期借入金の返済による支出10億円などにより、101億円の資金の減少となりました。

プリンティング・アンド・ソリューションズ (P&S) 事業

売上収益

〈通信・プリンティング機器〉

国内の需要は弱かったものの、主にSOHO市場向けのモノクロレーザー製品が新興国を中心に堅調に推移したことに加え、インクジェット複合機は新興国向けの大容量インクタンクモデルの販売が計画を上回るペースで進捗したことで、事業全体ではほぼ前年同期並みの水準となりました。

〈電子文具〉

「ピータッチ」ブランドで展開するラベルライター・ラベルプリンターが米州・アジアを中心にグローバルで堅調に推移したことに加え、モバイルプリンターを中心とするソリューション分野も安定的に推移し、事業全体で増収となりました。

営業利益

為替予約に関する評価損の影響がなくなったことにより、大幅な増益となりました。

売上収益
1,986 億円



営業利益
262 億円



パーソナル・アンド・ホーム (P&H) 事業

売上収益

米国で8月に発売を開始した最高級刺しゅうミシンの販売が好調に推移したことなどにより、増収となりました。

営業利益

最高級刺しゅうミシンの販売好調による製品構成の変化により、大幅な利益改善となりました。

売上収益
214 億円



営業利益
9 億円



マシナリー事業

売上収益

〈工業用マシン〉

工業用マシン、ガーメントプリンターともグローバルで堅調に推移し増収となりました。

〈産業機器〉

自動車関連向けの需要は好調に推移したものの、IT関連顧客向けの需要縮小を補えず、減収となりました。

〈工業用部品〉

堅調な設備投資需要に支えられ、ほぼ前年同期並みの水準を確保しました。

営業利益

主に産業機器の減収影響により、減益となりました。

売上収益

593 億円



営業利益

72 億円



ネットワーク・アンド・コンテンツ(N&C)事業

売上収益

昨年発売した新モデル「JOYSOUND MAX2」の需要は堅調を維持しているものの、今年度はレンタル契約による導入が増加したこともあり、減収となりました。

営業利益

減収に伴い、減益となりました。

売上収益

233 億円



営業利益

5 億円



ドミノ事業

売上収益

コーディング・マーキング機器、デジタル印刷機とも、グローバルで堅調に推移し、増収となりました。

営業利益

為替差益を計上した効果もあり、増益となりました。

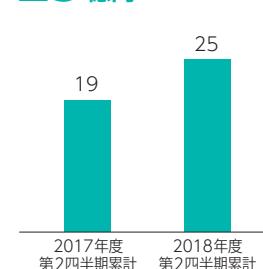
売上収益

347 億円



営業利益

25 億円





インクジェットプリンター「PRIVIO」のファーストタンクモデル5機種を新発売



2018年9月より、超大容量インクカートリッジとサブタンクを搭載したインクジェットプリンター「PRIVIO」ファーストタンクモデル5機種を発売しています。「PRIVIO」は、コストパフォーマンスの良さやコンパクトな本体サイズに加え、4色独立インクカートリッジを前面で交換できる手軽さなどで好評を博しています。新たに投入した「ファーストタンク」モデルは、大容量のインクジェットモデルをはじめ購入される方も安心のインクカートリッジ形式を採用しています。今後、「はじめての大容量はファーストタンクから。」をキーメッセージに、豊富なラインアップを揃え、印刷機会の多い家庭からビジネスシーンまで、幅広いお客様への販売を強化していきます。

ファーストタンクモデルのココがすごい！

- ・超大容量インクカートリッジとサブタンクを搭載
- ・インクカートリッジによる使い勝手の良さ
- ・A4対応の複合機からA3対応のプリンターや3段給紙複合機まで豊富なラインアップ



中国 西安工場が、ブラザーグループではじめて「GOOD FACTORY賞」を受賞



GOOD FACTORY賞



2018年8月、兄弟機械(西安)有限公司(以下、西安工場)が、グループではじめて一般社団法人日本能率協会の「2018年度(第8回)GOOD FACTORY賞」を受賞しました。同賞は、日本およびアジア地域で、工場の生産性向上、品質向上をはじめさまざまな体質革新活動に取り組んでいる企業を対象に、その取り組みのプロセスや成功要因、現場の知恵、働く人々の意識改革、社会的貢献などの内容を幅広く取り上げ、その成果を日本製造業の範として表彰する制度です。今回、西安工場は4つの表彰カテゴリー*のうち、「ものづくり人材育成貢献賞」を受賞しました。これは、ナショナルスタッフの積極的な育成と自立化推進や、人材育成活動と改善活動の一体運営などの点が特に高く評価されたものです。

西安工場の評価ポイント

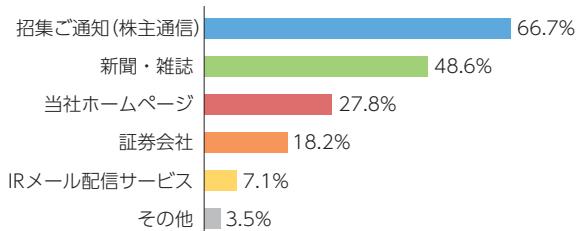
- ・ナショナルスタッフの積極的な育成と自立化推進
- ・人材育成活動と改善活動の一体運営
- ・良好なコミュニケーションによる活動活性化
- ・独自の工場文化の醸成

* 「ものづくり人材育成貢献賞」のほか、「ものづくりプロセス革新賞」「ものづくりCSR貢献賞」「ファクトリーマネジメント賞」がある。

株主アンケートの結果

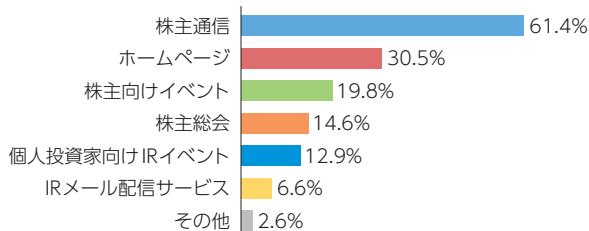
第126回定時株主総会招集ご通知送付の際に実施した株主アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回は、3,078名の株主さまにご回答をいただきました(全株主の21.2%)。株主の皆さまから頂戴した貴重なご意見・ご要望は、今後のIR活動に活かしてまいります。

Q1 当社についての情報を収集する手段を教えてください。(複数回答可)



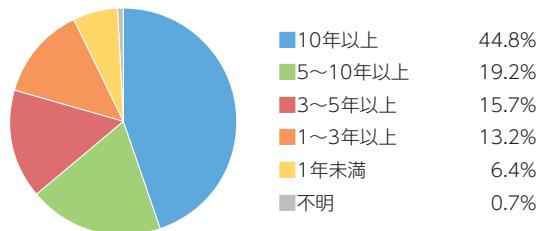
注) 総回答者数(3,078名)を母数として割合を算出しています。

Q2 今後の情報収集手段として期待されることを教えてください。(複数回答可)

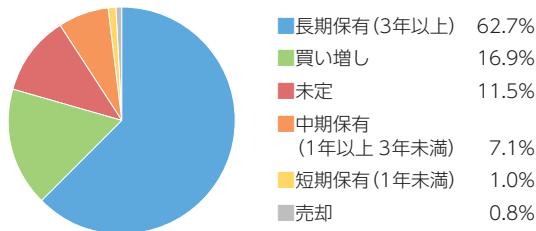


注) 総回答者数(3,078名)を母数として割合を算出しています。

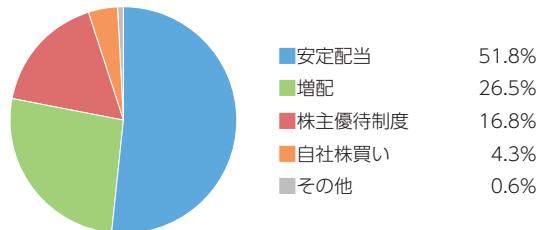
Q3 当社の株式保有期間を教えてください。



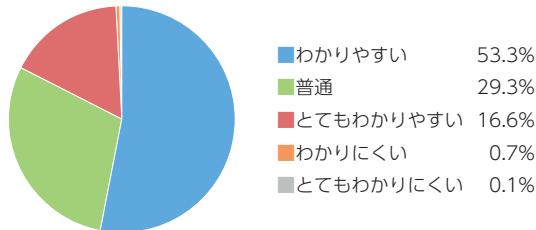
Q4 今後の当社株式の保有方針を教えてください。



Q5 株主還元策として最も期待される策を教えてください。(1つ)



Q6 今回の招集ご通知の分かり易さはいかがでしたか?



ブラザーの取り組み

株主さま向けイベントの活動報告

当社は、株主の皆さまにブラザーへの理解をより深めていただくため、株主さまとのコミュニケーション活動に継続的に取り組んでいます。今年度は、夏休みの時期に株主さまとご家族を対象としたイベントを3回開催しました。

ご参加いただいた皆さまからは、今回のイベントを通してブラザーを身近に感じられたと評価する感想や、今後も同様のイベントに参加を希望される声を多く頂戴しました。今後も皆さまのお声を活かしながら、株主さま向けイベントの企画に取り組んでまいります。

ピータッチを作ってみよう！

モノづくりについて学べるイベント「ピータッチを作ってみよう！」を東京と名古屋で開催し、多くの方々にご参加いただきました。

「P-TOUCH (ピータッチ)」は、さまざまなラベルが簡単に作ることができるブラザーのラベルライターです。このP-TOUCHの分解・組み立てをご自身で行い、モノづくりの体験をしていただくとともに、組み立てたP-TOUCHは、記念にお持ち帰りいただきました。



お孫さんと一緒にモノづくり

知ろう！学ぼう！東山動植物園のいきものたち

名古屋市東山動植物園で、見学・体験イベント「知ろう！学ぼう！東山動植物園のいきものたち」を開催しました。

株主さまに加え、お子さまや孫世代の方々を、東山動植物園のご協力にて特別に飼料室にご案内し、実際にインドサイの檻の中に入っておやつをあげる体験や、コアラ舎では、スタッフの方からのコアラの生態や食性についての詳しい解説の後、複数の種類があるユーカリのにおいの違いを感じるなどの体験を通じて、動物に対する理解を深めていただきました。

さらに、生物多様性をテーマにしたワークショップでは、絶滅危惧動物をモチーフにしたオリジナルトートバッグの制作など、さまざまな体験を満喫していただきました。



インドサイにおやつをあげる

IR活動報告

機関投資家向けに ドミノ事業説明会を開催

2018年10月3日、ドミノ事業について理解を深めていただくことを目的に、機関投資家向けドミノ事業説明会を開催しました。当日は、代表取締役社長の佐々木より機関投資家の皆さまに、事業内容および今後の方針についてご説明しました。説明会後のアンケートでは、参加した機関投資家の皆さまから高い評価をいただき、満足度の高さがうかがえました。



説明会の様子

健康経営の推進

2018年2月、ブラザー工業は「健康経営優良法人」に、昨年に続き認定されました。この制度は、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰するものです。これからも健康経営の実現に向け、従業員の健康の保持・増進に対する取り組みを戦略的に進めていきます。



会社の概要

基本データ (2018年9月30日現在)

商号 ブラザー工業株式会社 (BROTHER INDUSTRIES, LTD.)
本社 〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号
TEL: 052-824-2511 (代表)
設立 1934年1月15日
資本金 192億9百万円
上場証券取引所 東証1部、名証1部
従業員* 連結: 39,095名 単独: 3,951名 *正社員のみ

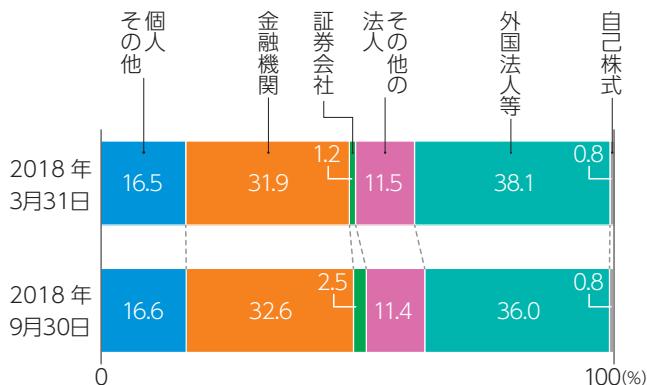
役員 (2018年10月1日現在)

取締役	代表取締役会長	小池 利和	執行役員	常務執行役員	服部 親将
	代表取締役社長	佐々木 一郎		若原 宏之	
	代表取締役 専務執行役員	石黒 雅		久野 光康	
		川那辺 祐		星 真	
	取締役 常務執行役員	神谷 純		桑原 悟	
		只 雄一		村上 泰三	
	社外取締役	西條 温		鈴木 剛	
		服部 重彦		小出 哲郎	
		深谷 紘一		長谷川 泰之	
		松野 聰一		佐藤 龍也	
	竹内 敬介	伊藤 敏宏			
		杉本 吉市			
監査役	監査役 (常勤)	日野 圭一	グループ常務執行役員	ナイジェル ボンド	
		小川 和之		三輪 祐司	
	社外監査役	有田 知徳	グループ執行役員	武田 進	
		小野木 孝二		野地 勲	
		山田 昭		池田 和史	
		三島 勉			

株式の状況

株式の分布状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 600,000,000株
 発行済株式総数 262,220,530株
 株主総数 15,223名



大株主 (上位10名) (2018年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT*	14,415	5.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)*	13,881	5.29
日本生命保険相互会社	11,798	4.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)*	11,633	4.44
株式会社三井住友銀行	7,398	2.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)*	4,919	1.88
住友生命保険相互会社	4,499	1.72
ブラザーグループ従業員持株会	4,152	1.58
STATE STREET BANK WEST CLIENT — TREATY 505234*	3,952	1.51
株式会社三菱UFJ銀行	3,796	1.45

注1: 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

注2: 持株比率は小数点第三位を四捨五入して表示しています。

注3: *印のある株主の所有株式は、すべて当該各社の信託業務にかかる株式です。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年 3月31日
 定時株主総会 毎年 6月
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 第2四半期末配当金受領株主確定日 9月30日
 基準日 3月31日
 公告掲載URL <https://global.brother/ja/investor/koukoku>

※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に公告します。

株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関
 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

※株主さまの住所変更その他各種手続きにつきましては、株主さまご自身が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にて承りますので、詳細は各口座管理機関へお問い合わせください。

※特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

IRウェブサイトのご案内

当社IRウェブサイトでは、「個人投資家の皆さまへ」ページなど、コンテンツの拡充を進めています。最新のIR情報など、さまざまな情報を提供しておりますので、ぜひご覧ください。

<https://global.brother/ja/investor>

ブラザー工業株式会社

本社 〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

<https://global.brother/ja>



環境に優しい「水なし印刷」を採用。大気中に揮発性有機物を排出しません。

VOC FREETM

インキの石油系溶剤を大豆油主体とした植物系溶剤に100%置き換え、VOC(揮発性有機化合物)フリーとしました。

